

令和4年度林木育種成果発表会を開催

令和5年2月8日(水)、令和4年度林木育種成果発表会を開催しました。今年度は全国から多くの方にご参加いただけるようオンラインでの開催としたところ、国、都道府県、民間企業や研究所等から、約270名の方の申込みがありました。

当日は、宮崎大学農学部森林緑地環境科学科の雉子谷佳男教授から、「これからの木材生産と林木育種への期待」と題した特別講演、また、山形県森林研究研修センター研究企画部の渡部公一部長から、「雪国山形の林木育種の取組」と題した特別報告をそれぞれいただきました。



宮崎大学 雉子谷教授



山形県森林研究研修センター 渡部部長

特別講演の雉子谷教授からは、木材の力学的性能は、木材の密度とセルロースマイクロフィブリル傾角が大きく関係すること、品種や成長と材質との関係、材質や成長と植物ホルモンとの関係、今後は、成長の速さに加え、材質育種にも期待したいとのお話がありました。

また、特別報告の渡部部長からは、積雪が多い山形県での雪害抵抗性品種の重要性、近年での少花粉スギ、無花粉スギ、特定母樹等についての取組について、説明していただきました。

続いて、林木育種センター・森林バイオ研究センター・育種場の研究者から、次の7課題について発表しました。

○令和4年度の品種開発

育種部 育種第一課 育種調査役 山野邊 太郎

○育種の効率化・高速化に向けた針葉樹4種のゲノム基盤の構築

育種部 育種第一課 基盤技術研究室長 平尾 知士

○育種サイクルの短縮に向けたトドマツの早期選抜戦略の構築

北海道育種場 育種課 育種研究室長 花岡 創

○東北地方における早生樹の増殖技術の高度化と実用化への取組

東北育種場 育種課 育種研究室

主任研究員 矢野 慶介

○薬用樹木・早生樹候補としてのキハダの収集・評価

遺伝資源部 探索収集課 分類同定研究室

主任研究員 稲永 路子

○アカシアハイブリッドクローン品種創出の実証試験 —王子グリーンリソース株式会社との10年間の取組— 指導普及・海外協力部 西表熱帯林育種技術園長

千吉良 治

○薬用樹木カギカズラの栽培・生産・利用に向けた技術開発

森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室長

小長谷 賢一

発表後の質疑応答では、今年度開発された初期成長に優れた第二世代品種の選定基準、トドマツ以外の樹種の早期選抜状況、早生樹候補のオノエヤナギとユリノキの植栽適地、開発したアカシアハイブリッドの優良クローンの今後の活用、カギカズラの社会実装の見通し等について多数の質問をいただきました。

今日、林業の成長産業化、地球温暖化対策、花粉発生源対策などについて、林木育種に対する社会的ニーズが益々高まっています。講師の先生方やご参加いただいた皆様からのご意見、ご要望等も踏まえながら、さらに研究開発を進めて行く考えです。

(企画部 育種企画課 藤原 優理)